

個室待合室

全国初の試みとして実現した「個室待合室」。6室ある室内には、テレビや椅子が設置されています。ほかの患者さんに会うことなく1人で静かに順番を待ちたい人、プライバシーを守りたい人のために用意されました。



病室

12室ある病室は、すべて個室。テレビ、ビデオはもちろんのこと、全室にバス・トイレが完備されています。約20m²の広々としたスペースなので、ゆとりと産後の疲れを癒すことができます。



落ち着いたインテリアが配された待合室は、貴重な情報交換の場

DATA

- 住所 宗像市曲 122-1
- TEL 0940-35-7800
- http://www.m-central.jp
- 院長 川浪 大郎
- 診療時間 月曜～金曜
9:00～13:00
16:00～19:00
土 曜
9:00～13:00
- 休診日 日曜・祝日
- 駐車場 20台



MAP



母親サークル

るので、母子手帳と保険証さえ持参すれば文字通り「身ひとつ」で入院できるようになっています。

何かと不安の多い妊婦さんへのメッセージとして、「出産時の苦痛ばかりを、いたずらに心配することはありません。お産にかかる時間は半日ほど、その後待っているのが長い子育て期間です。どんな子にも育ってほしいか、そんなことを考えたなら、妊娠期間の10カ月をゆとりとリラックスして楽しんでください。ね」と笑顔の院長。出産は、医療のプロである私たちに任せて。温かく、力強い言葉で励ましてくれました。

宗像セントラルクリニック

産科 婦人科

宗像市

充実した施設と高い技術が
実現する驚異の安産率



ひときわ目を引く明るい外観



個室の病室は約20m²と広々スペース



食堂

南欧風のモダンなたたずまいが印象的な「宗像セントラルクリニック」。平成14年の開院以来、難産の指標である帝王切開率が1%（既往帝王切開を除く）という安産率を誇ります。また、「逆子」は外転を積極的に治療します。現在まで逆子出産がゼロというのも同クリニックの技術の高さを物語っているようです。分娩時は、すべての赤ちゃんを必ず院長自らが取り上げるというのにも心強いですね。

院内には、快適な通院・入院生活実現のためさまざまな工夫がなされています。日本で初めて設置された「個室待合室（6室）」も、そのひとつ。ほかの患者さんたちと顔を合わせる必要がなく、授乳中のお母さんにとっても好評だとか。陣痛室と分娩室が一体となった「LDR室」が2部屋あるのも、このエリアでは初の試み。アメリカで開発された先進的なお産のシステムです。痛みのピーク時に陣痛室から分娩室への移動が辛い、という女性たちの声を反映させて作りました」と、院長。静かな音楽が流れ、アロマの香りに漂うLDR室で、リラックスして出産に臨みます。

12室ある病室は、バス・トイレ付きの全室個室。アメニティグッズから出産用下着まで、お産に必要なものはすべてそろえてあ

院長
川浪 大郎
Dairo Kawanami

滋賀医科大学大学院博士課程修了。主として関西の国、公、私立病院に産婦人科医として勤務。京都市内の女子大専属婦人科相談医、助産師学校講師など兼任後、宗像セントラルクリニックを開院。医学博士。

3ヵ月同窓会

同クリニックで出産したママたちを対象に、3ヵ月後の同窓会を開催。子育てグループのネットワーク作りの一助になれば...そんな思いではじめられました。ベビーマッサージをした後はフリータイム。お茶を飲みながらのおしゃべりにメール交換、記念写真撮影と、楽しい交流の輪が広がります。とすれば孤独になりがちな新米ママたちにとって、貴重な情報交換の場になっているよう。出産前のママのために「母親学級」も毎月開催しています。



LDR室

陣痛室と分娩室、回復室が1つになったLDR室。1人がゆとりと使えるように、2室設置しています。

LDRとは、陣痛(Labor)、分娩(Delivery)、回復(Recovery)の頭文字をとったものです。



快適な入院のために

入院中のサービスも充実！例えば、出産に必要なアメニティグッズが入った「おみやげセット」が入院時にもらえます。また、清潔なリネン類の貸し出しもあるので、入院のため持参するのは、普段使っている化粧品や遠征時のベビー服だけ。「何を揃えればいいの」そんなことで悩む必要もありません。そのほか、産後のフェイシャルエステやご夫婦で楽しむ特別ディナーなど、さまざまな工夫がなされています。